

# サマーコンサート

## 2000

指揮：横 島 勝 人  
司会：永 井 邦 子  
演奏：鎌倉交響楽団



2000年8月5日(土) 午後7時～8時30分  
鎌倉芸術館小ホール

主催：鎌倉市教育委員会

## プログラム

1. 鎌倉市歌 大木惇夫 詞/矢代秋雄 曲
2. 劇音楽「パール・ギュント」より エドヴァルド・グリーグ
  - 1)花嫁の略奪とイングリッドの嘆き
  - 2)山の魔王の宮殿にて
  - 3)オーゼの死
  - 4)朝の気分
  - 5)アラビアの踊り
  - 6)アニトラの踊り
  - 7)パール・ギュントの帰郷
  - 8) ソルヴェイグの歌

— 休 憩 —

3. 劇音楽「カレリア」より ヤン・シベリウス
  - 1)序曲
  - 2)間奏曲
  - 3)バラード
  - 4)行進曲
4. 交響詩「フィンランディア」 ヤン・シベリウス

## プロフィール

### 指揮：横島勝人

1964年大阪生まれ。1982年大阪音楽大学入学、1990年ウィーン国立音楽大学入学。1998年オランダのキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれる。1999年12月にはウィーンの楽友協会ホール（ムジークフェラインザール）でのトーン・キュンストラ交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功を収めウィーンデビューを飾る。これまで国内では大阪センチュリー交響楽団・関西フィルハーモニー管弦楽団・広島交響楽団・京都市交響楽団・東京佼成ウィンドオーケストラ等、海外ではハンガリー国立セゲド交響楽団を始めフランス国立リール交響楽団・オランダ放送管弦楽団・フランス・グルノーブル管弦楽団等を指揮している。今後が最も期待される若手指揮者の一人である。

### 司会：永井邦子

武蔵野音楽大学短大卒業。NHK横浜放送局、ラジオ日本でアシスタント・キャスターを勤めるほか、神奈川フィルハーモニー管弦楽団・群馬交響楽団・鎌倉交響楽団などのプロ、アマチュアのオーケストラの司会、各種シンポジウムの司会などで活躍している。

## 曲 目 解 説

### 劇音楽『ペール・ギュント』

北欧ノルウェーを代表する作曲家グリーグ（1843-1907）は1874年に世界的文豪イブセンから自作の戯曲『ペール・ギュント』を上演する為の付随音楽の作曲を依頼されました。当時まだ無名に近い作曲家だったグリーグは、この思わぬ出来事に大変に感激し、それから約一年を費やして全26曲からなる音楽を完成させました。1876年オスロの国民劇場で行われた初演でその優れた劇とともに大喝采を浴び、これがグリーグの名を世界に広めるきっかけとなりました。

物語は放蕩者のペール・ギュントの破天荒な振る舞いと世界を又に掛けた大冒険、そして彼を取り巻く女性たちのお話です。今夜は後に作曲家本人によって再編成された演奏会用組曲（第一・第二）をストーリーの順に並べ替えて、お話とともに演奏いたします。

### 劇音楽『カレリア』と交響詩『フィンランディア』

フィンランドの作曲家シベリウス（1865-1957）は七曲の交響曲を残した交響曲作家として近代音楽史に名を残していますが、大衆にはあの「フィンランディア」の作者として馴染みがあるのではないのでしょうか？シベリウスは若い頃より演劇のための付随音楽の依頼を沢山受けていて、本日お届けする2曲も元々は劇のための音楽として作られたものなのです。

1947年から旧ソヴィエト連邦領になってしまったカレリアはフィンランドの歴史と伝承文化の宝庫でした。1893年、まだフィンランド領であった年にカレリアの州都ヴィボルグの学生協会から依頼されたカレリア地方の歴史にテーマを求めた野外劇の為の音楽がこの劇音楽「カレリア」です。本日はその序曲と後に組曲として再編された3曲を演奏いたします。序曲は劇中の主要な主題を少しずつ登場させながら幻想的な雰囲気醸し出します。間奏曲は行列が遠くから近づいてきてまた遠ざかる様を表現しています。バラードは劇では吟遊詩人が歌う場面で使われる音楽です。行進曲はつかの間の北欧の夏を思わせるような明るく愉快的な佳作です。

シベリウスの生きた時期はフィンランドに対するロシアの政治的圧力が日増しに強まった時代でした。そんな背景の中、彼は愛国独立運動の一環として上演された「歴史的情景」という劇の付随音楽を作曲しました。交響詩「フィンランディア」は劇音楽の終曲を後に改作したものです。フィンランドの人々の愛国心をあまりに呼び起こしたために、ロシアはこの曲のフィンランド国内での演奏を禁止してしまったという史実が残っており、この曲がいかにフィンランド国民から愛されたかを物語っています。

# 鎌倉市歌

(同声2部)

大木 惇夫 作詞  
矢代 秋雄 作曲

Moderato *mf*

ゆいーがはーま しーず けきなみにひ  
 とのわをいざなうみやこやまのさちうみのさちゆ  
*CRSC.*  
 たーけーくふうこうはみやびにもすがーしー  
*f*  
 くせかいのひとーのこころをーひくーよに  
*mp*  
 じはたつにーじはよぶかまくら かまく  
 かまくら  
 ら ああはえあるみやこ  
 1. 2. 3.  
 2. おさ  
 3. さ

## 鎌倉市歌

- 一、由井が浜しずけき波に  
 人の和をいざなう都  
 山の幸海の幸ゆたけく  
 風光はみやびにも清しく  
 世界の人の心を惹くよ  
 虹はたつ 虹は呼ぶ  
 鎌倉 鎌倉 ああ栄えある都
- 二、大仏の気高き在り所  
 慈悲と愛あふるる都  
 山の幸海の幸ゆたけく  
 栄光をかかぶりて興りて  
 久遠の智慧の泉を掬むよ  
 虹はたつ 虹は呼ぶ  
 鎌倉 鎌倉 ああ歴史の都
- 三、さみどりの林の丘と  
 砂の白むつめる都  
 山の幸海の幸ゆたけく  
 住居して快よく明るく  
 風懐ゆかし 貝殻鳴るよ  
 虹はたつ 虹は呼ぶ  
 鎌倉 鎌倉 ああ文化の都